

ダイケンフローアー(床暖房対応Eハードベース仕様)

用途【住宅内装用(床暖房対応・耐キャスター・ワックス不要)】

施工説明書 施工業者様用

施工業者様
へのお願い

「取扱説明書」を添付しております。お施主様が製品を安全に正しくご使用していただくためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載しておりますので、必ず、お施主様に手渡していただきますようお願いいたします。(取扱説明書は弊社HP <http://www.daiken.jp/>よりダウンロードも可能です)



施工方法は
動画で確認出来ます

警告表示の種類と内容

弊社製品を長期間安全に使えるよう施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

■シンボルマークと意味：誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を説明しています。



注意 誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■警告図記号について：本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



「必ずおこなっていただくこと」を示します。

安全のためにお守りください



注意



●本製品は一般内装用(上履き用)の床材です。重歩行用(土足用)には使用できません。



- 下地工事、床暖房パネル、二重床の施工は、各部材メーカーの施工説明書をよく読み、注意事項を守って使用してください。
- 床下の換気を十分に行えるように換気口を設けてください。床下が多湿であったり、通風が悪い場合には腐朽の原因となります。
- ピアノ、大型冷蔵庫等の重量物を置く場合には、下地の補強を十分におこなってください。
- 施工・加工時には、防じん対策をとってください。必要に応じて防じんマスク、保護手袋、ゴーグルを着用してください。
- 裏面にお施主様用の「取扱説明書」が記載してありますので、必ずお施主様にお渡しください。
- 本製品の廃棄は各自治体の規制に基づき適切な処理をしてください。

床暖房仕様について

- 本製品は、床暖房の仕上げ材としてもご使用いただけます。
- 推奨床暖房パネル

種類	品名
小根太付温水マットタイプ	ガス会社製品

- 上記以外の床暖房パネルを使用される場合は、床暖房パネルメーカーにご確認ください。

施工方法

※根太張り工法はできませんのでご注意ください。

1 下地工事

- 捨て張り材は、次のいずれかとしてください。

捨て張り材の種類	厚さ	根太の仕様
合板	12mm以上	断面 45×45mm以上の乾燥材 (間隔 303mm以下)
パーティクルボード	15mm以上(※1)	
ネダレス針葉樹合板	24mm以上(※2)	

(※1)ただし、根太間隔が455mmを超える場合は、たわみや床鳴りが生じ易くなるため、20mm以上のパーティクルボードをご使用ください。

(※2)ただし、メーターモジュール(大引き間隔1,000mm)の場合は、たわみや床鳴りが生じ易くなるため、28mm以上のネダレス合板をご使用ください。

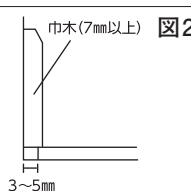
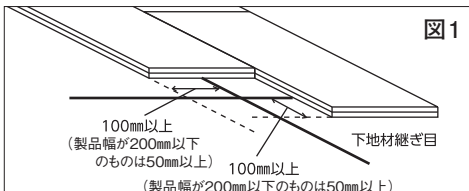
- 捨て張り材は、ビスまたは釘(間隔303mm以下)で根太・大引に固定してください。
- 捨て張り材同士の継ぎ目には、2~3mmの隙間を設けてください。
- 捨て張り材の表面は平滑になるように調整し、継ぎ目の段差がないようにしてください。
- 遮音マット、石こうボード(床下地用高密度タイプ)へ施工する場合は、木質下地へ固定できる長さの釘を使用してください。
- 二重床を施工する場合は、必ず二重床メーカーの施工仕様に従ってください。
- パーティクルボード上に床暖房パネルを施工する場合は、必ず12mm以上の合板を捨て張りしてください。

2 下地施工後の確認

- 下地施工後、異常なたわみや床鳴りがないことを確認してください。
- 下地材が乾いていることを確認してから床材を施工してください。水分を多く含んでいると、シミやふくれの原因となります。(含水率14%以下)
- 下地材表面を清掃してください。異物が残った場合、床鳴りの原因になります。
- 床暖房パネルを施工した際には、仕上げ材を施工する前に、床暖房システムが正常に作動することを確認してください。

3 割り付け

- 施工前に製品を仮並べし全体の色、空のバランスを確認してください。
- 下地材の継ぎ手と床材は(図1)のように100mm以上(製品幅が200mm以下のものは50mm以上)離れるように割り付けてください。
- 張り方は床材の短辺部のジョイントが隣り同士で揃わないようにしてください。(尺または3尺ずらしをお勧めします。)3尺ピッチで横溝が入る製品は、1.5尺ずらしをお勧めします。
- 床暖房パネルへの施工の場合、短辺部のジョイントは必ず釘打ち可能な箇所で行ってください。3尺ピッチで横溝が入る製品は尺または2尺ずらしで行ってください。
- 巾木の下では壁と床材の間に必ず3~5mmの隙間をあけてください。(図2)



4 施工

- 下地への固定は、次の釘および接着剤を併用してください。その他の釘や接着剤を使用したり、釘のみで固定した場合、床鳴りや目隙の原因となります。

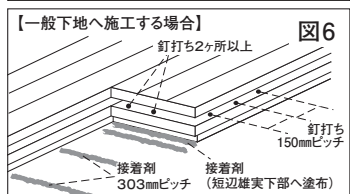
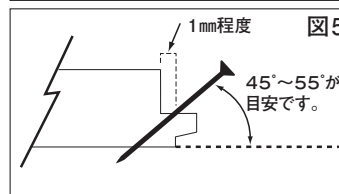
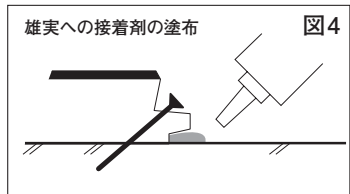
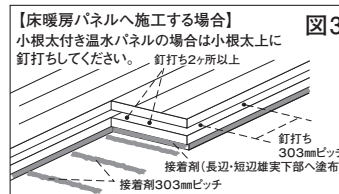
釘	●スクリューネイル 38mm ●フロアステーブル 38mm (肩幅4mm以上)
接着剤	●捨て張り工法用ボンド 「DK接着剤ECO」、「DK接着剤ECO簡単ふきとりタイプ」

【床暖房パネルへ施工する場合】(床暖房用仕上げ材として使用する場合)

- 接着剤はノズル口径を8φにカットし、303mmピッチで線状に塗布してください。また、製品長辺・短辺雄実部(図3、4)にも必ず塗布してください。
- 釘の打ち込み位置は図3の通り床材長辺雄実部に303mmピッチ、短辺雄実部に2箇所以上釘打ちしてください。(製品幅200mm以下のものは1箇所以上)また、釘頭を目立ち難くするために、雄実付け根から約1mm程度あけて釘打ちを行ってください。(フローリング用ステーブルの場合も同じです。)(図5)

【一般下地へ施工する場合】

- 接着剤はノズル口径を8φにカットし、303mmピッチで線状に塗布してください。また、製品短辺雄実部(図4、6)にも必ず塗布してください。
- 釘の打ち込み位置は図6の通り床材長辺雄実部に150mmピッチ、短辺雄実部に2箇所以上釘打ちしてください。(製品幅200mm以下のものは1箇所以上。)また、釘頭を目立ち難くするために、雄実付け根から約1mm程度あけて釘打ちを行ってください。(フローリング用ステーブルの場合も同じです。)(図5)



5 養生方法

- 施工後は、傷防止のために必ず養生し、床材表面を保護してください。弊社の養生ボード・専用テープの併用をおすすめします。
- 布製ガムテープや広巾クラフトテープ等は粘着力が強く、床材表面を損傷する恐れがありますので使用しないでください。養生テープをはがす場合は、ゆっくりとはがしてください。急激にはがすと床材表面が損傷する恐れがあります。
- 天然木化粧フロアの場合は、養生材に隙間があると部分的に日焼けして変色する恐れがあるため、必ず養生材を隙間なく敷き詰めて床材表面全体を覆ってください。特に直射日光の当たる窓際ではサッシ際まで詰めて養生材を敷いてください。

■美装時のワックス掛けは必要ありません。

取扱説明書

お施主様用

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取扱いについて、内容をご理解の上、正しく安全にお使いください。

- シンボルマークと意味：誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を説明しています。



注意

誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

- 警告図記号について：本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



「必ずおこなっていただくこと」を示します。

お手入れ方法・
使用上のご注意



▲詳しくはこちら

安全のためにお守りください

 注意		<ul style="list-style-type: none"> ●床暖房とこたつ、電気カーペットを併用することは避けください。また座布団などの保温性の良いものを長時間同じ場所に置かないでください。異常加熱により、床材の継ぎ目部に隙間、表面にひび割れをおこすことがあります。 ●本製品は上履き用です。土足では使用しないでください。 ●キャスターの種類や荷重、頻度等の使用状況によっては、凹み傷や表面剥離が生じる場合があります。金属製キャスターや球状キャスターの使用はお控えください。キャスターの使用頻度が高い箇所はカーペットなどを敷いて、床材を保護してください。 ●スチームモップは、床材を傷めますので使用しないでください。
		<ul style="list-style-type: none"> ●重量物(ピアノ等)を置く場合は、敷板等を脚部の下に敷き、重量を分散させてください。(8kgf/cm²以下) ●テーブルや椅子を引きずると、床材表面が損傷する恐れがあります。足先にフェルト等を付けて床材表面を保護してください。(ゴムキャップは種類により床材を汚染するものがありますのでご注意ください。) ●床材を長時間濡れたまま放置すると、シミやひび割れ、変色、膨れ、剥離等の原因となります。また、表面が濡れていると滑りやすく、転倒の恐れがあり危険です。速やかに拭き取ってください。 ●水が飛び散る恐れのある場所では水濡れおよび転倒防止、床面の汚れ防止のためマットを敷いて表面を保護してください。 ●マットの材質によっては床表面が変色する恐れがあり、特に白色・淡色床材では目立つことがありますので、マットの注意書きをご確認ください。時折敷物下の状態をご確認いただき、汚れがある場合は清掃してください。

未永くご使用いただくための注意事項・ご理解いただきたいこと

- 床材の表面の汚れは速やかに拭き取ってください。床材表面に汚れが付着すると染みの原因となる恐れがあります。
- お手入れは次の方法でおこなってください。

日常のお手入れをするとき	→	乾いた雑巾で拭く
汚れがひどいとき	→	固く絞った雑巾で拭く
上記方法でも汚れが落ちないとき	→	中性洗剤(*)を含ませて固く絞った雑巾で拭く

※使用する場合は、メーカーの使用方法に従ってください。

- 天然木化粧フロアの場合は太陽光や照明などの光の影響により表面単板の色が変化したり(変色)、色あせたり(退色)します。特に直射日光のあたる箇所では変色・退色が早まるため、外出時やご使用になられていない部屋ではカーテン等でできるだけ直射日光を遮ってください。
※天然木単板の変色・退色は一般的な現象であり、床材のご使用上支障はございません。
- 化学ぞうきんはドライタイプの商品をおすすめします。ウェットタイプの商品は、商品の使用上の注意を十分に読み以下についてご注意の上、ご使用ください。
◆ご注意いただきたいこと
 - ・床材の切れ端やカットサンプル、または床の目立たない場所等でお試しいただき、問題がないことを確認してからご使用ください。
 - ・水濡れ箇所、ワックスがけの直前、直後には絶対に使用しないでください。ワックスが白くなったり、床材が変色する可能性があります。
 - ・床の上に長時間放置しないでください。床材が変色する恐れがあります。
- 化学ぞうきんの繊維が目地部分に引っかかり、付着し目立つ場合があります。
- ワックスによるお手入れは基本的に必要ありませんが、お客様の都合によりワックス掛けをされる場合は、弊社の「DKワックスネオ」をご使用ください。他のワックスを使用されますと、塗布ムラ、密着不良等のトラブルの原因となります。
【DAIKENパーツショップ(<http://www.daiken.jp/service/>)にて販売】
- ワックス掛けをされますと、ワックス膜により床材表面本来の性能や質感が損なわれますので、ご承知ください。

ワックスによるお手入れは必要ありません。

※経年劣化により表面の艶が著しく変化した場合には、弊社の「DKワックスネオ」のご使用をおすすめします。

DAIKEN製品の品質保証について

対象製品	本施工説明書が同梱されていた製品	①建物の設計・施工に起因する不具合 ②施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合 ③自然現象・周辺環境等(※1)の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れまたはその他の不具合 ④室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取り付けられたことによる隙間・反り・キシミ音などの不具合 ⑤極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合 ⑥建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合 ⑦入居者または第三者の不適切な使用または維持管理等に起因する不具合 ⑧取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、摩耗、破損、変形などによる不具合 ⑨経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変退色、汚れ、さび、かび、劣化摩耗などの不具合 ⑩用途外に使用された場合の故障および損害(例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合等) ⑪犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害に起因する不具合やキクイムシなどの虫害に起因する不具合 ⑫仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合 ⑬保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合 ⑭製造時に実用化されていた技術では予想することが不可能な事象に起因する場合 ⑮離島などの遠隔地へ出張を要する修理を行う場合、出張に要する実費 ⑯その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合 ※1:火災・地震・水害・落雷などの天災地変や公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境
保証事項	外観上の著しい変形・変質(反り、ハガレ、中層ハクリ)が無いこと 弊社指定の施工場所に弊社の施工方法・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態(前提条件)で、上記事項を保証します。なお、本内容は日本国内においてのみ有効です。 【保証箇所】基材、表面	
保証期間	施工完了後より2年間 ※保証期間とは、弊社製品の施工完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を無料で処置する期間としております。保証期間を経過したものは有料となります。	
免責事項	製品の不具合が右の①～⑯のような場合には、保証期間内であっても「有料扱い」になります。	

製品を未永く安全にご使用いただくために、ユーザー登録をお願いいたします。

ユーザー登録サービス ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、ご利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です!! 登録はこちらから <http://www.daiken.jp/user/>

DAIKEN株式会社

<http://www.daiken.jp/>

製品のお問い合わせはお客様センターへ

☎0120-787-505

受付時間:平日9:00~17:00
(土・日・祝日・年末年始・お盆は休み)